



# eF-ON

## BIOMASSENERGY GUIDE BOOK

株式会社エフオン 〒100-6617 東京都千代田区丸の内一丁目9-2  
株式会社エフバイオス グラントウキョウサウスタワー17階

株式会社エフオン白河 〒969-0307 福島県白河市大信中新城字塩沢45-5

株式会社エフオン日田 〒877-1371 大分県日田市大字東有田字新山2813-10

株式会社エフオン豊後大野 〒879-7102 大分県豊後大野市三重町菅生字大屋原1-39

株式会社エフオン壬生 〒321-0215 栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙3451-1

株式会社エフオン新宮 〒647-0071 和歌山県新宮市佐野字下地2140-1

森林とともに歩むエフオン



コーポレートサイト  
<https://www.ef-on.co.jp/>



山林事業部 HP  
<https://www.ef-bios.co.jp/forest/>

# 森林とともに歩むエフオン

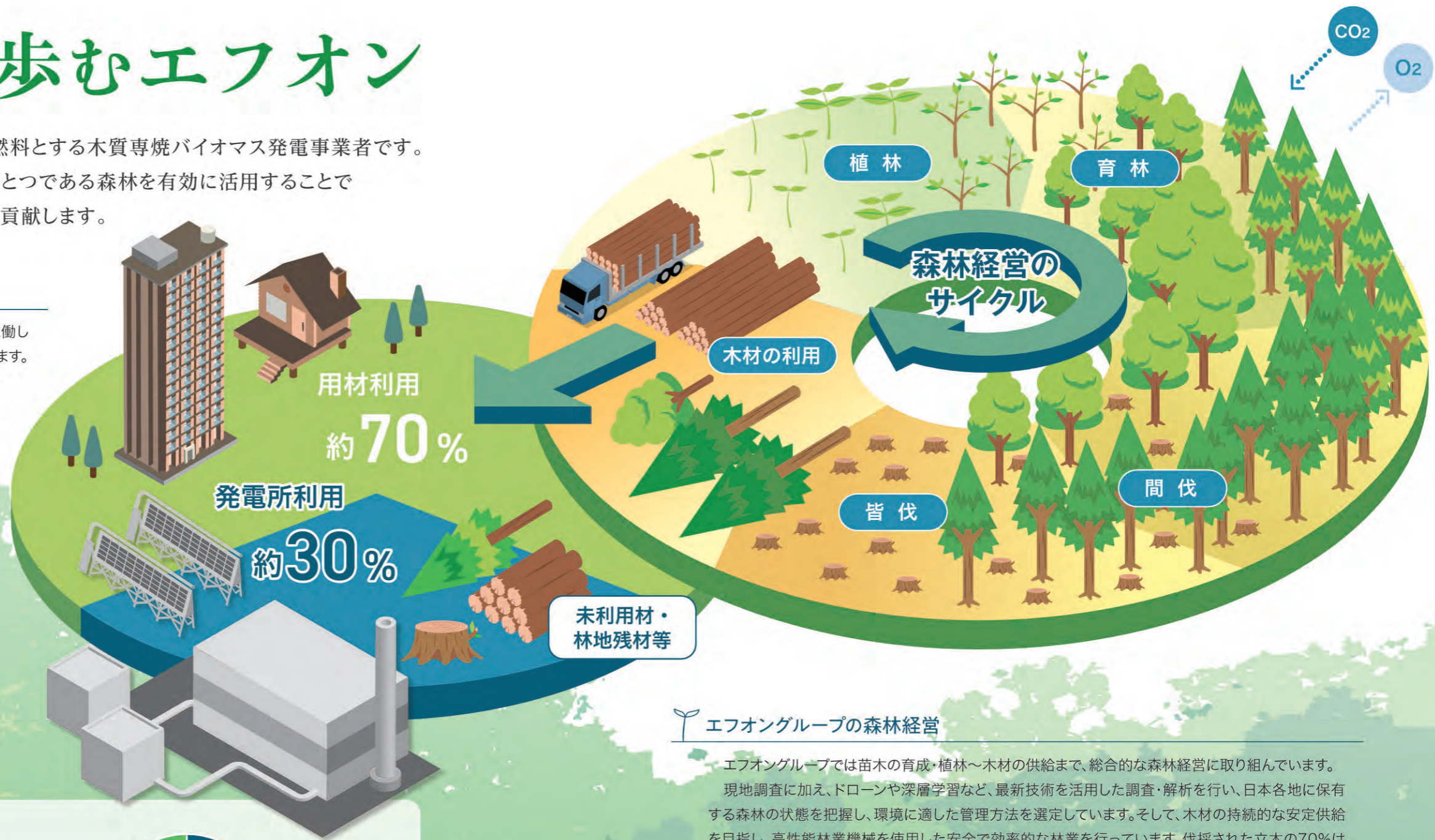
エフオングループは、純国産の木材のみを燃料とする木質専焼バイオマス発電事業者です。化石燃料に依存せず、日本最大の資源のひとつである森林を有効に活用することで林業の活性化を支援し、森林環境の保全に貢献します。

## エフオンの木質バイオマス発電所

エフオングループの木質バイオマス発電所は全国に5基稼働しており、主に近隣の県から燃料となる木材を集めて発電しています。発電所で使われているのは、未利用材や林地残材をはじめとした従来ならば用途が無く利用されていなかった木材や、建物を解体した際に発生する建築廃材等で、国内資源の利活用の一環を担っています。



エフオングループの発電所

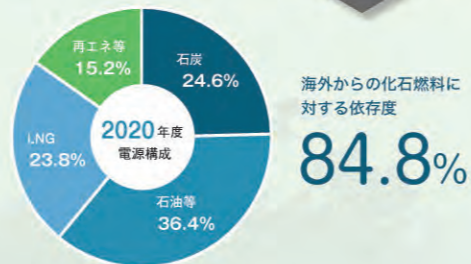


## エフオングループの森林経営

エフオングループでは苗木の育成・植林～木材の供給まで、総合的な森林経営に取り組んでいます。現地調査に加え、ドローンや深層学習など、最新技術を活用した調査・解析を行い、日本各地に保有する森林の状態を把握し、環境に適した管理方法を選定しています。そして、木材の持続的な安定供給を目指し、高性能林業機械を使用した安全で効率的な林業を行っています。伐採された立木の70%は建築用材として加工され、建築用材として利用できない間伐材や枝葉などの30%はバイオマス発電の燃料として余すことなく利用しています。また、木を収穫した後、再び森へ戻すため“適地適木”の考えに基づき、地域の特性や地形・土壌などを考慮し、選定した樹種を植えて育てることにより森林の役割や価値を守りながら、多様性に富んだ森林づくりを行っています。

## 化石燃料に残された課題

現在の日本の電力供給において、発電に用いられる資源のおよそ85%は、海外からの輸入による化石燃料(石炭、石油等、LNG)に依存しています。地球温暖化の原因とも言われている温室効果ガスの9割はエネルギー起源の二酸化炭素が占めており、これは国際的な問題となっています。エネルギー自給率の向上と二酸化炭素の排出量削減は、日本の重要な課題です。その解決策のひとつとして期待されているのが、木質バイオマス発電です。

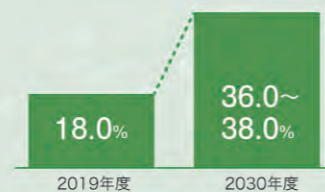


出典：資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」の2020年度値

## 国内の天然資源を活用し 持続的に日本のエネルギーを支えていきたい

木質バイオマス発電とは、木材を燃料として電気を作る発電方法です。発電時に排出される二酸化炭素は森林育成の過程で吸収されるため、大気中の二酸化炭素の増減に影響を与えないことからカーボンニュートラルな電気と言われています。従来ならば利用されてこなかった木材を資源として有効活用することは林業への新たな経済効果を生み、それは適切な森林経営につながっていきます。正しく森を扱うことで山林資源の循環、ひいては持続的なエネルギー生産につながります。エフオングループでは、持続的に日本のエネルギーを支えていきたいと考えています。

■国が目指す2030年度の再生可能エネルギーの割合



出典：第6次エネルギー基本計画

## 森林経営による効果



環境の保全



災害防止



資源の持続的利活用

エネルギーの課題

エフオングループの答え